

自然災害伝承碑の分布

※【自然災害伝承碑】とは、過去に起きた自然災害の規模や被害の情報を伝える石碑やモニュメントです。

※公開数：47都道府県278市区町村936基

(令和3年5月14日現在)

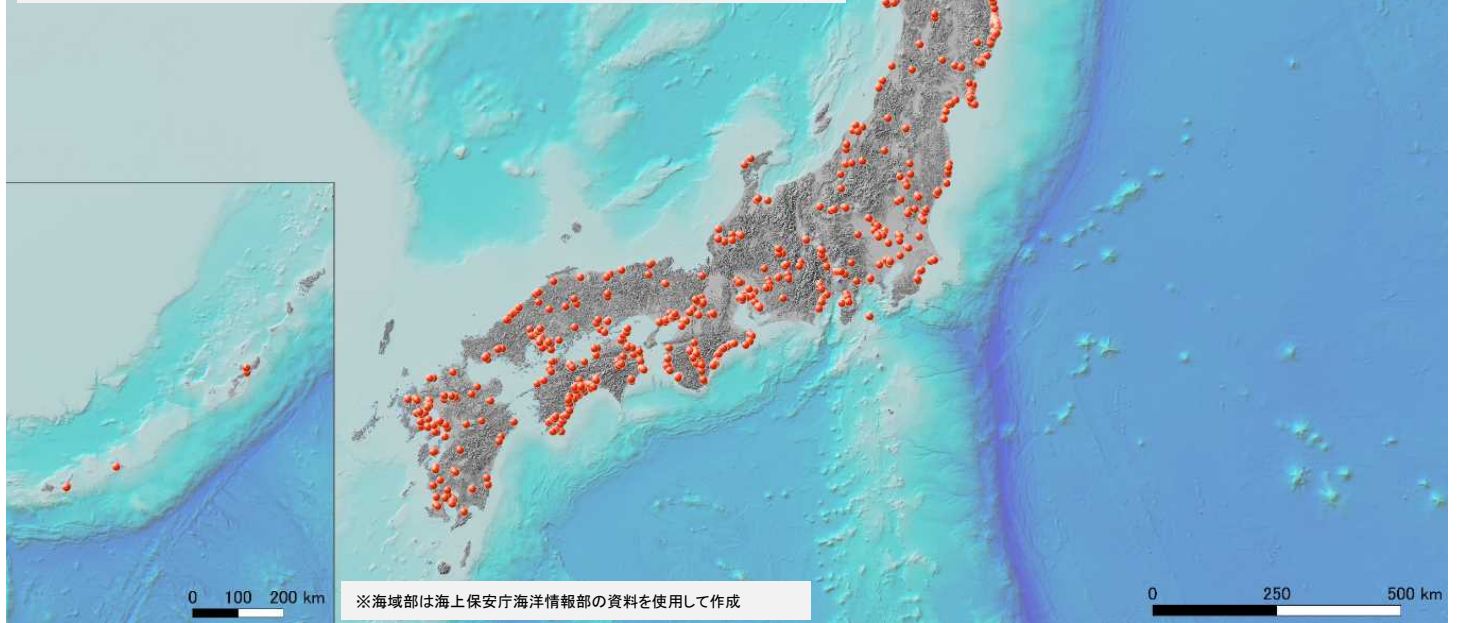
＜北陸地方測量部管内：4県15市町34基＞

【新潟県】14基（新潟市6基、長岡市2基、小千谷市1基、十日町市1基、燕市1基、魚沼市2基、湯沢町1基）

【富山県】8基（富山市1基、射水市7基）

【石川県】4基（輪島市2基、白山市2基）

【福井県】8基（福井市3基、勝山市3基、あわら市1基、若狭町1基）



「自然災害伝承碑」の代表事例

地震（新潟県長岡市）

新潟県中越地震震央標柱	
概要	
碑名	新潟県中越地震震央標柱
災害名	平成16年(2004年)新潟県中越地震 (2004年10月23日)
災害種別	地震
建立年	2005
所在地	新潟県長岡市川口武蔵産
伝承内容	平成16年(2004)10月23日、最大震度7の地震が発生。震央は、武蔵産地内の田んぼの真ん中。平成17年に震央地に建てられた木の標柱が風化し始めたので、平成19年に恒久的なモニュメントを新たに設置し、平成30年に現在の位置へ移設。

ID:15202-001



洪水（新潟県新潟市）

木津切れの跡	
概要	
碑名	木津切れの跡
災害名	水害(木津切れ) (1913年)
災害種別	洪水
建立年	1995
所在地	新潟県新潟市江南区木津4-9
伝承内容	宝永4年(1707)より大正15年(1926)に至るまで、十数度に渡る小阿賀野川の破壊がこの地を襲った。特に大正2年(1913)8月の豪雨時は破壊約180m以上に及び、被害は旧亀田町袋津を越え遠く新潟市沼垂の地にまで及んだという。

ID:15100-006

